

令和6年度 学校経営の方針

1 経営の基本方針

全校の子供一人一人が夢や志をもち、新しい時代（自分の未来）を主体的に切り拓いていく力を身に付けることができるよう、「教育は人づくり」という視点に立ち、知・徳・体のバランスのとれた子供の育成をめざす。

そのためには、教職員一人一人の力を結集しながら協働による特色ある教育活動を推進するとともに、家庭や地域、関係機関等との連携協力を密にし、開かれた学校づくりに努めていくことが重要と考える。

学校は、子供にとって楽しく、子供が主体となって活動・活躍できる場所となるよう、教師と子供の信頼関係を築き、学年・学級経営の充実を図りながら、魅力ある教育活動を展開できるよう努めていきたい。

2 教育課題

- (1) 自ら学び、確かな学力を身に付けた子供の育成
- (2) 仲間を思いやり、主体的に判断して行動する子供の育成
- (3) 生活リズムを整え、自ら健康づくりに取り組む子供の育成

3 教育目標・努力目標

◎自分の未来を主体的に切り拓いていく子

- | | | |
|-----|----------|-------------------------|
| [知] | すすんで学ぶ子 | ・学習習慣をしっかりと身に付け、意欲的に学ぶ子 |
| [徳] | 思いやりのある子 | ・思いやりの心をもち、よく考えた行動ができる子 |
| [体] | けんこうな子 | ・健康や安全は自分で守り、生き生きと運動する子 |

4 めざす学校像

- (1) 安全・安心で、子供にとって魅力があり楽しいと言える学校
- (2) 子供の健やかな成長をめざし、工夫・改善を図りながら教育活動を行う学校
- (3) 保護者や地域に信頼され、共に手を携えて子供を育てていく学校

5 めざす教師像

- (1) 子供のよさや可能性を見出し、よりよい変容をめざす人間性豊かな教師
- (2) 自己研鑽に励み、他の職員と協働で職務に励む教師
- (3) 教育公務員としての自覚をもち、子供や保護者、地域から信頼される教師

6 今年度の重点

◇子供が主体となる取組を工夫する。

(1) 確かな学力の育成

- ①子供一人一人が「わかる・できる」を実感できる授業づくりに努める。
- ②「確かな学力向上プラン」に基づき、共通の指導や取組を行う。
- ③家庭と連携しながら、望ましい学習習慣の定着をめざす。

(2) 豊かな心の育成

- ①あいさつや返事、すまいる条約の取組を推進・工夫する。
- ②よりよい人間関係を基盤とした学年・学級経営の充実に努める。
- ③教育活動全体を通じた道德教育の充実に図り、道德性を養う。

(3) 健やかな体の育成

- ①「早寝・早起き・朝ご飯」を基本とした生活リズムの改善を促す。
- ②本校の実態を踏まえた体力向上の取組を工夫・継続する。
- ③健康安全に対する意識の高揚と危険予測・回避能力の育成を図る。

(4) 特別支援教育の充実

- ①発達障害を抱える子や教育的配慮を要する子について、全教職員で情報を共有するとともに、必要な手立てや支援等について共通理解を図る。
- ②特別支援学級と協力学級、通級指導教室と関連学級の連携を強化する。
- ③家庭との情報交換を密にし、必要に応じて関係機関等との連携を図る。

(5) 家庭や地域、関係機関等との連携

- ①地域と共に子供たちの学びや成長を支えていくための、地域学校協働活動事業を進める。
- ②家庭や地域に対して、教育活動の公開及び情報発信等を積極的に行う。
- ③五一中学区教育研究会を中心に、幼保小中の連携を図る。